
平成30年度北栄町高校生議会会議録

平成31年1月16日（水曜日）

議事日程

平成31年1月16日 午前9時30分開会

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 諸般の報告

日程第4 一般質問

出席議員（16名）

1番 山根 瑠君	2番 岡本 直也君	2番 田中 翔馬君
3番 竹中 葵君	4番 田中 隆雅君	4番 松田 萌々香君
5番 齋尾 幸希君	6番 影井 翔君	7番 高島 真太郎君
8番 中島 月愛君	9番 木下 朱利君	10番 陶山 知明君
11番 山口 柚花君	12番 松本 麗衣君	13番 吉田 泰彗君
14番 丸 颯斗君		

議長（1名）

議長 吉田 花乃君

（北栄町議会事務局出席職員職氏名）

事務局長 磯江 恵子君 主幹 福田 香織君
事務補佐員 長谷川 利恵君

説明のため出席した者の職氏名

町長	松本 昭夫君	副町長	手嶋 俊樹君
教育長	別本 勝美君	地方創生監	澁谷 潤君
総務課長	磯江 昭徳君	企画財政課長	小澤 靖君
住民生活課長	藤江 純子君	福祉課長	田中英伸君
健康推進課長	吉田 千代美君	地域整備課長	吉岡 正雄君
産業振興課長	手嶋 寿征君	観光交流課長	松本 裕実君
生涯学習課長	杉本 裕史君		

午前9時20分 高校生議会開会式

○事務局長（磯江 恵子君） 皆さんおはようございます。時間になりましたので、ただいまから平成30年度北栄町高校生議会の開会式を行います。

はじめに、北栄町議会議長 飯田正征がごあいさついたします。

北栄町議会議長あいさつ

○町議会議長（飯田 正征君） 皆さんおはようございます。本日開催の高校生議会も今回で5回目となりました。今日は、高校生議員の皆さん16名から19問の一般質問の通告がありました。これは、鳥取中央育英高等学校において取り組んでおられます「地域探究の時間」でしっかりと北栄町を見極めてこられた証ではないかと思えます。高校生議員の視点から町政に対しどんどん質問、意見を述べていただき、その意見を町政に反映させることができるようよろしくお願いをいたします。以上で、開会あいさつとさせていただきます。

○事務局長（磯江 恵子君） 続きまして、松本昭夫北栄町長がごあいさついたします。

北栄町長あいさつ

○町長（松本 昭夫君） 皆さんおはようございます。そして、新年あけましておめでとうございます。先ほど議長からありましたように、この高校生議会も今年で第5回となります。過去4回の高校生議会におきましてもいろんな質問をお受けしたところでありますし、また、その中で実現したのものもあるわけでありまして、

皆様方はこの1年間、地域探究の時間の中でこの北栄町のいろんなこと、そしてまた他の町のことも勉強してこられました。いろいろ新しいことを学んだこともあると思えますし、また、こういうことだったのかと考えられたこともあると思えます。そういう中で、今回一般質問されるわけでありまして、皆さんの質問に十分答えるようにしたいと思えますが、なかなか財政的なもの、時期的なもの、いろんな面で困難なものもあろうかと思えますが、しっかりと答弁させていただきたいと思えます。

皆様方は鳥取中央育英高等学校の生徒でございます。今朝の日本海新聞に、鳥取県の出版文化賞ということで「ばんとう」という本が選ばれておりました。その中の対談があったわけでありまして、110年を超える歴史のある高校でございます。高校をつくられた豊田太蔵先生の建学の精神であります「克己」、これをこれからの人生の中においても十分に生かしていただきたいと思えます。

また、この地域探究の時間の中で学んだものをそれぞれの地域で生かしていただければと思います。そして将来、社会の役に立つ人間になっていただきますように心からお願いを申し上げます。皆様方のご質問、大変楽しみにしておりますのでよろしくお願いをいたします。これからもがんばっていただきたいと思えます。

○事務局長（磯江 恵子君） 最後に、鳥取中央育英高等学校 宍戸靖雄校長にごあいさつをお願いいたします。

鳥取中央育英高等学校長あいさつ

○校長（宍戸 靖雄君） 皆様おはようございます。鳥取中央育英高校の校長の宍戸と言います。学校を代表しまして、ひと言ごあいさつとお礼を申し上げます。本

日は平成 30 年度北栄町高校生議会を開催するにあたり、松本北栄町長様をはじめ北栄町の皆様、そして北栄町議会議員の皆様には、貴重な時間を割いていただき開催できましたことを感謝申し上げます、また、うれしく思っているところであります。特に、北栄町議会議員の皆様には大変お忙しい中、高校生に対してご指導、ご助言を賜りまして、本日のこの高校生議会を迎えることができましたことを本当に深く感謝を申し上げたいと思います。

本校は、5 年前に北栄町とこの「地域探究の時間」を通して協約を結びまして、この地域探究の時間の活動に対して協力して取り組んでまいりました。そして、この高校生議会もその一環として推奨してきたわけですが、地域のこの地元にある高校生が、この北栄町の課題を探究してその課題解決に向けて取り組んでいくといったようなこと。そして、選挙年齢が 18 歳以上となったことをきっかけに、主権者教育として、将来を担うこの高校生が、北栄町の町政、それから町議会に高い関心を持つといったことを目標に取り組んでまいりました。

高校生の意見は未熟で若い意見になりますが、これまでも町政の中に取り入れていただいたり、それから継続して取り組んでいただいているものもあるように思います。若い意見だからといって簡単に打ち切るのではなくて、それこそが町の発展につながるのではないかというような思いの中で、こうやって取り組んでいただいていることに改めて感謝を申し上げたいと思っています。

先ほど、松本町長さんからありましたが、昨年度の本校の 110 周年の記念事業の中に、「ばんとう」という小説の制作がありました。本日、鳥取県出版文化賞を受賞するその授賞式がございますが、この小説は本校創設者の豊田太蔵先生が学校にかける生涯を描いた小説であります。そのスタートに武信佐五右衛門さん、武信潤太郎さんを中心に、この地域住民方が反射炉、そしてお台場建設をされている一大プロジェクトの中で、豊田太蔵少年が幼いながらもこの様子を見て自分の志を持ち、将来この地域に貢献できる人材になりたいというそういう強い思いを持ったところから小説が始まるわけであります。この北栄町と豊田先生の強いつながりがあったからこそ、この鳥取中央育英高校の設立というものが生まれてきたのではないかと考えております。そういう中で、この北栄町と高校生が議会というこういう場で意見を交わすことができるということは、豊田太蔵先生も天国で喜ばれているのではないかと考えております。

本日、この高校生議会が充実した意見交換の場になることを祈念しまして、そして北栄町がますます発展することを祈念しまして、簡単ですが学校代表としてのごあいさつとさせていただきます。本日はよろしく申し上げます。

○事務局長（磯江 恵子君） ありがとうございます。それでは、これより高校生議会の本会議をはじめます。高校生議会の開会にあたり、議長の指名を行っていただきます。

北栄町議会議長による、高校生議長の指名

○町議会議長（飯田 正征君） 高校生議会の開会にあたり、議長として、吉田花乃議員を指名します。

午前 9 時 30 分開会

○議長（吉田 花乃君） ただいま議長の指名を受けました、鳥取中央育英高等学校 2 年の吉田

花乃です。鳥取中央育英高等学校と北栄町にとって有意義な高校生議会となりますよう、皆様のご協力をよろしく申し上げます。

○議長（吉田 花乃君） それでは会議をはじめます。ただいまの出席議員は17人です。定足数に達していますので、これより平成30年度北栄町高校生議会を開会します。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配布したとおりです。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（吉田 花乃君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。本会期中の会議録署名議員は、議長において、1番 山根瑠議員、2番 岡本直也議員を指名します。

日程第2 会期の決定

○議長（吉田 花乃君） 日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。高校生議会の会期は、本日1日としたいと思っております。これにご異議ありませんか。

〔 「異議なし」と呼ぶ者あり 〕

○議長（吉田 花乃君） ご異議なしと認めます。よって、会期は本日1日間と決定しました。

日程第3 諸般の報告

○議長（吉田 花乃君） 日程第3、諸般の報告をします。

本会議の出席者は、お手元に配布の資料のとおりです。

日程第4 一般質問

○議長（吉田 花乃君） 日程第4、一般質問を行います。

届け出順により、順次質問を許します。

1番、山根瑠議員。

○議員（1番 山根 瑠君） 1番、山根瑠です。私は町長に、旅行会社と連携したツアーの企画についてお聞きします。

アニメ「Free!」の岩美町、「名探偵コナン」の北栄町、「ゲゲゲの鬼太郎」の境港市が連携して、それぞれの地域を楽しめるアニメツアーを、北栄町が主となり旅行会社と連携しツアーを企画してはどうでしょうか。それぞれでも人は多数来ると思いますが、連携することで滞在型になり宿泊施設にもよい影響を与えると思うのですがどうでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（吉田 花乃君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 山根議員のご質問にお答えいたします。

旅行会社と連携したツアーについてのご質問でございます。

山根議員ご指摘のとおり、鳥取県内には、北栄町の「名探偵コナン」や境港市の「ゲゲゲの鬼太郎」をはじめとした多くのマンガ・アニメコンテンツを活用したまちづくりがそれぞれの市町で進められているところです。それぞれのマンガ・アニメには著作権があり、その著作権を管理している事業者はそのマンガ・アニメにより異なります。北栄町も「名探偵コナン」の著作権を管理している事業者と契約を結び、契約の範囲内で「名探偵コナン」を活用したまちづくりを進めています。著作権に係る内容についてはそれぞれの市町で違い、契約者以外が著作権を管理している事業者と協議することはできません。

また、マンガ・アニメの場合、マンガ・アニメなら何でも興味がある方もおられますが、自分の好みの作品に対する思い入れは強いがその他のマンガ・アニメへの興味はそれほどといった方が多いように感じております。

北栄町が主となり旅行会社と連携してツアーの企画をしてはとのことでございますが、こうしたことを考えますと、鳥取県内のマンガ・アニメコンテンツの連携については、一つの町が旅行会社と連携してツアー企画するのは極めて困難であると思っておりますので、広域で観光商品が企画できる観光推進機構や県が中心となって進めていただき、各市町が連携、協力していく姿がよいのではないかと考えているところであります。北栄町としましては、今後も「名探偵コナンに会えるまち 北栄町」の魅力の磨き上げを行っていき、魅力ある観光地づくりを行っていきたいと考えているところであります。また、今回の提案につきましては県や観光推進機構にお話しをし、こういう連携ツアーができるようであれば町としても協力をしてまいりたいと考えているところであります。

○議長（吉田 花乃君） 山根議員。

○議員（1 番 山根 瑠君） 再度質問します。

この3つのアニメは東部、中部、西部に分かれており、滞在型のツアーにはとてもしやすいと思います。なので、県や岩美町、境港市と連携していけるように話し合っ、前向きに進めてもらえるようにしてください。

○議長（吉田 花乃君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 議員仰せのように、大変すばらしい提案だと思います。やはりただ1つのところに来ていただくより、いろんなアニメのそういうコンテンツのあるところがあるわけですので、連携できるかどうかということも含めて県のほうに提案をさせていただきたいと思っております。

○議長（吉田 花乃君） 山根議員。

○議員（1 番 山根 瑠君） 検討をお願いします。以上で質問を終わります。

○議長（吉田 花乃君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 十分検討して進めてまいりたいと思っております。

○議長（吉田 花乃君） 以上で、山根議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（吉田 花乃君） 2番、岡本直也議員、田中翔馬議員。

○議員（2番 岡本 直也君） 2番、岡本直也です。町長に、B級グルメや和菓子などの新商品の開発について質問します。

北栄町の地元企業に声をかけ、B級グルメや和菓子などの新商品の開発を依頼してみてもはどうでしょうか。

B級グルメは今も全国でイベントが開催されており、その商品がインスタント食品になったりしています。役場が中心となり野菜生産者、製肉業者、町のシェフなどと協働し、地方への発送も想定した新商品を作り、道の駅やアンテナショップで広めてみるはどうでしょうか。

宝製菓や山本おたふく堂などお菓子の店もあるので、和菓子の新商品を開発してもらおうのはどうでしょうか。

○議員（2番 田中 翔馬君） 2番、田中翔馬です。町長に、スイーツの開発について質問します。

町のフルーツを使い、特定の年齢層や女性にあわせたスイーツを開発してはどうでしょうか。北栄町ではイチゴ、スイカ、梨などの果物を栽培しています。子どもたちに人気のグミは果汁だけでよいし、女性に人気の果肉入りゼリーなどの洋菓子、和菓子などを大手メーカーに依頼し試作してもらおうのはどうでしょうか。

現在も、不二家にドリーム農場はイチゴを提供しておられるので、他の果物でも何か作ってもらえないか頼んでみるのはどうでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（吉田 花乃君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 岡本議員のご質問にお答えいたします。

B級グルメや和菓子などの新商品の開発についてのご質問です。

北栄町は、議員ご承知のとおり「農業のまち」としてスイカや長芋、ブドウなどをはじめ年間を通して数多くの農産物を生産しております。町内の農産物は生鮮としての出荷がメインとなっておりますが、菓子メーカーや加工事業者などから町内の農産物を活用した加工品やB級グルメなどの新メニュー、お菓子などを開発したいとの声があれば、ぜひとも町が中心となって生産者やJAとの橋渡しをさせていただき、開発の後押しをさせていただきたいと考えております。

また、新商品の開発やPRには多くの費用がかかります。本町は、独自の制度として6次産業化補助金を設けております。これは、本町の農産物を活用して加工品を開発する町内の農業者等を対象に、商品の開発に係る経費やPRに係る経費、またパッケージ作成に係る経費の一部を補助金として支援する制度であります。新商品の開発に意欲をお持ちの方にぜひとも活用いただき、本町の農産物が持っている素材の良さを生かした商品を開発していただきたいと考えております。

また、開発した新商品を道の駅やアンテナショップで広めるのはどうかのご提案についてでございますが、より多くの人目に触れる場所として有効な販路であり、PR手法であると考えております。現在もすでに生産者組織や加工事業者が開発したラッキョウ漬けなどの商品が、町内の道の駅の直売所や東京都新橋にあるアンテナショップに並べられており、本町の農

産物の素材の良さを広くPRしているところでもありますので、新商品を開発した際には有効なPRの場として活用させていただきたいと考えております。

また、宝製菓や山本おたふく堂などのお菓子の店に新商品を開発してもらうのはどうかのご提案でございます。菓子メーカーや加工事業者が新商品を開発するにあたっては、年代、性別など誰を購買対象とするのか、また、地元消費者それとも観光客を捉えて販売するのか、ターゲットを想定した上で材料調達・生産・輸送・販売などの一連のコスト計算をしながら商品企画を行います。その上で、ターゲットに対して素材の持ち味をいかに引き出して商品自体の魅力向上を図るかを考え、試作を繰り返しながら商品開発をされております。そうした中で、最近の事例では、地元の菓子製造事業者から打診があり、北栄ドリーム農場のイチゴを使ったイチゴ大福を開発され近隣のスーパーや直売所で販売されております。本町の農産物を生かした新商品を開発したいとの声があれば、町として積極的に協力させていただきたいと考えているところでもあります。

岡本議員をはじめ高校生の皆さんにおかれましても、若者ならではのアイデアを提案していただき、北栄町の特産品の魅力アップにご協力いただければと思っております。

次に、田中議員のご質問にお答えいたします。

スイーツの開発についてのご質問です。

大手菓子メーカーが商品を試作するにあたっては、自社商品の開発が前提であり、大量の商品を生産・商品化することを原則として必要な量の材料を安定的に仕入れなければならないことから、本町の農産物の生産量、出荷時期が大手メーカーに対応できるかどうかという課題があります。

また、本町の農産物は、先ほども申し上げましたが生鮮としての出荷がメインとなっており、加工用原料としての取引価格が生食用の価格と同等以上でなければ、生産者にとってメリットがない取り組みとなってしまいます。

大手メーカーに自社商品の開発を見越さない試作のみをお願いするという事は、メーカー側にビジネスとしてメリットがないため現実的ではないと考えておりますし、商品化を見越したアプローチをかけるとしても、取引量や取引価格などを調整する上で極めてハードルが高いと考えております。

一方で、町内に目を向けますと「ぶどう加工部★キラッと★」さんが町内で生産したブドウを使用したブドウゼリーを開発されておられますし、米粉加工グループ「米夢マイム」さんが米粉クッキーやシフォンケーキを開発しておられます。このように、すでに町の農産物を活用したスイーツが開発されておりますが、生産量が少量であるため、また常時の生産でないため、店舗での販売がなされておられません。

先の質問で申し上げましたとおり、本町の農産物を活用した新商品の開発について意欲的な加工事業者や洋菓子店等がおられましたら、町として積極的に協力させていただきたいと考えております。

次に、不二家にイチゴ以外の果物で商品を作ってもらえないか依頼してはとのご提案でございます。現在、北栄ドリーム農場から大手洋菓子メーカーの不二家にイチゴを出荷しており、主にケーキを製造されているところでもあります。議員ご承知のとおり、本町にはイチゴだけではなく大栗西瓜やブドウ、梨や柿など年間を通して数多くの果物が生産されておりますので、

取引価格をはじめ出荷時期や出荷量など多くの調整項目があるところではありますが、JAと連携しながら不二家に改めて本町の農産物の魅力をお伝えし、新商品開発の可能性につながらないか働きかけを行ってみたいと考えております。

○議長（吉田 花乃君） 岡本議員。

○議員（2番 岡本 直也君） 検討をお願いします。

○議長（吉田 花乃君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） やはりその町で地元の商品を使ったスイーツであったりとか、あるいは和菓子であったりとか、そういうものが出来れば大変付加価値が上がってまいりますので十分に検討させていただきたいなと思っております。

○議長（吉田 花乃君） 岡本議員。

○議員（2番 岡本 直也君） 以上で質問を終わります。

○議長（吉田 花乃君） 以上で、岡本議員と田中議員の一般質問を終わります。
次に進みます。

○議長（吉田 花乃君） 3番、竹中葵議員。

○議員（3番 竹中 葵君） 3番、竹中葵です。町長に、北条のオートキャンプ場の沖に海上アスレチックを設置について質問します。

いかだや滑り台など子どもも大人も遊べる海上アスレチックをつくり、北条オートキャンプ場とセットで入場者増加を目指してはどうでしょうか。

道の駅「北条公園」はリニューアルされると聞いたので、道の駅とコラボすることで利用客もふえると思うのですがどうでしょうか。

ただし、秋から春は海から撤収できるようにしなければいけません楽しいと思います。どうでしょうか。イメージはこんな感じです。（イメージ画をボードにて提示）

○議長（吉田 花乃君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 竹中議員のご質問にお答えいたします。

北条のオートキャンプ場の沖に海上アスレチックを設置についてのご質問でございます。

現在、本町におきまして道の駅「北条公園」の再整備を検討しており、整備の概要を示す基本計画を策定しているところであります。道の駅「北条公園」は、国道9号線を挟んで南側エリアと北側のオートキャンプ場エリアが登録範囲となっており、本町の玄関口として北条砂丘の魅力を盛り込みながら、他の道の駅にはない特徴を持った再整備を行うことにより集客を図りたいと考えております。

その中で、海上アスレチックは日本海に面した道の駅「北条公園」の立地を魅力的に生かす手法の一つであると考えられます。しかしながら、海上で行うウォーターアクティビティを実施するためには、海上での安全を確保することが必要となります。海上アスレチックを安全に行うためには、安全に運営が可能なイベント運営スペースの確保、防波堤などがある波の影響の少ない場所、離岸流が発生する場所ではパーク設置が不可などの要件があるようであり、こういった要件がありますので、全国的に海上アスレチックは海水浴場内の開設されております。こうしたことを考えると、遊泳禁止となっている北条オートキャンプ場北側の海岸で安全

に運営を行うには、ハードルが非常に高いことが考えられます。

また、設置したパークサイズにより1回の搭乗人数が決定され、1人あたりの参加費×1日の回転数により収支の計算が出来ますが、期間中に台風などの天候不良の場合、運営が不可能となりますし、遊具をビーチに引き上げる作業が必要になり作業を行う人員の確保、引き上げた遊具の保管場所の確保が必要となります。こうしたことを考えますと、海上アスレチックは年間を通した安全な運営が困難なこと、費用対効果等の課題もあり設置は困難ではないかと考えるところであります。

しかしながら、道の駅「北条公園」の魅力の造成を考える上で、竹中議員に注目いただいた海辺の活用策は必要な視点でありますので、他に安全に実施できるものがありましたら考えてみたいと思っております。

○議長（吉田 花乃君） 竹中議員。

○議員（3番 竹中 葵君） 本当に無理なら西高尾のダム湖でも構いません。日本全国には海でなくても、福島県の裏磐梯ウォーターパークなどの湖や、千葉県の蓮沼ウォーターガーデンなどプールを利用した水上アスレチックもたくさんあります。どうでしょうか。

○議長（吉田 花乃君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 西高尾のダムというようにお話がありましたが、あそこはもともとが農業用ダムでありまして、レジャーとしての活用を目的としたものではないということですので、なかなかこれもむずかしいかなと思っております。

以前、運転免許試験場跡地に迷路がつくられた時に、プールに水を貯めてその中にボールを浮かべて、その中に入って遊ぶというようなこともあったわけであります。そういうものがあれば考えてみたいと思えますし、やはり安全性ということを考える中で、浜辺で遊ぶというようなことがこのオートキャンプ場ではベターではないかなと思っております。

○議長（吉田 花乃君） 竹中議員。

○議員（3番 竹中 葵君） 県東部の浦富海岸に日本最大級の海上アスレチックがあり、いいお手本になると思います。海上アスレチックは子どもから大人まで、ファミリー層にも絶対満足してもらえるとします。国内にはまだ少ない新しいタイプの魅力的なスポットであり、周辺の自治体からも観光客を呼べると思います。どうでしょうか。

○議長（吉田 花乃君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 先ほども答弁いたしました、北条海岸は遊泳禁止の区域でありますし、また、湾になっていないということでかなり流れがきつい、そしてまた離岸流も発生しているところでありまして、そういうアスレチック、大変おもしろいとは思いますが、やはり安全面等を考えればなかなか許可が下りない場所だと思っておりますので、そういう意味では難しいかなと思っております。そういうことで、もし海を使った、あるいは海岸を使ったそういうものであれば、やはり砂浜の中でやるようなもの考えることがいいのではないかなと思っております。

○議長（吉田 花乃君） 竹中議員。

○議員（3番 竹中 葵君） 以上で質問を終わります。

○議長（吉田 花乃君） 以上で、竹中議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（吉田 花乃君） 4番、田中隆雅議員、松田萌々香議員。

○議員（4番 田中 隆雅君） 4番、田中隆雅です。僕は町長に、空き家の再利用として、資金援助し公募でカフェとしてオープンさせることについて質問します。

空き家や倉庫などをカフェとしているところも多く、人気も高いです。NHKの番組に「ふるカフェ系 ハルさんの休日」という番組があり、全国のそういったカフェを取材しているのをご存知ですか。インスタ映えし、コナン目当てで来た観光客にも人気が出るとは思いますけどうでしょうか。

そこで、町が資金の一部を補助し、公募で経営者を募集しオープンさせるのはどうでしょうか。応募がなかった場合、町が経営するなどして再利用するのはどうでしょうか。

○議員（4番 松田 萌々香君） 4番、松田萌々香です。町長に、宿泊施設として空き家を利用することについて質問します。

町内の空き家を宿泊施設として活用し、観光客を中心に多くの人に宿泊してもらうことで、北栄町で暮らすことへのきっかけの一つになるのではないかと考えますがどうでしょうか。

また、町内に宿泊することで滞在時間が延び、町外に宿泊した人に比べ町内の多くの場所を観光してもらうことができるのではないのでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（吉田 花乃君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 田中議員のご質問にお答えいたします。

空き家の再利用として、資金援助し公募でカフェとしてオープンさせてはどうかについてのご質問でございます。

議員仰せの、古民家や倉庫を改修し人気のカフェやショップとして活用されている事例が、テレビ等でよく取り上げられていることは存じており、本町を訪れるコナンファンからも「カフェや買い物できるお店がほしい」との声をいただいているところであります。

そのような中、本町では出店・起業に関する独自の支援制度として北栄町創業支援事業補助金を設けており、町内において創業・起業される方に店舗の開設費用や、お店・商品等のPRに係る経費の一部を補助金で支援しております。すでに、これまでもこの補助金を活用して空き家等でカフェ等のお店をオープンした方もおられるところであります。また、コナン通り周辺の賑わいを創出することを目的に、由良宿の指定地域内で出店する方に対しては、他の業種をすでに営まれている事業者の方、つまり第二創業も支援の対象となる北栄町由良宿まちづくり活性化支援事業補助金を設けて、意欲のある創業者や事業者を町として積極的に支援しているところであります。

現在のところ、本町が直営でカフェを運営することは考えていないところでありますが、意欲ある民間の活力を最大限に発揮できるよう支援してまいりますので、高校生の皆さんにおかれましても「北栄町でカフェをやってみたい！お店をやってみたい！」と意欲のある方がおられましたら、ぜひとも役場にご相談いただければと考えております。

次に、松田議員のご質問にお答えいたします。

宿泊施設として空き家を利用してはについてのご質問です。

町内の空き家を宿泊施設として活用し、観光客を中心に多くの人に宿泊をしてもらうことで、北栄町で暮らすことへのきっかけになるのではないかとのことですが、空き家を宿泊施設として活用するためには、旅館業法等の宿泊施設としての基準を満たすための空き家改修と、その宿泊事業をだれが行うかといったことが課題となります。

北栄町では、妻波地区に「おためし住宅」という体験施設を設けており、移住を検討されている方に北栄町で実際に生活していただいたり、働く場所や住む場所を探したりといった移住に向けた体験をしていただいているところでもあります。議員仰せのように、観光客の方に宿泊していただくような活用ができればよいのですが、旅館業法等の問題もあり、移住を検討されている方の体験施設としての活用となっております。

また、平成24年2月に北栄町グリーンツーリズム研究会が発足し、農家民泊の受け入れ・研究活動が進められ、平成30年2月には北栄町民泊推進協議会が設立され、農家民泊による県外中学生の教育旅行などを受け入れる活動がはじまっております。ただし、先に述べましたように農家民泊が宿泊業となりますと旅館業法等の関係がございますので、北栄町の生活を体験していただくということで実施しております。町といたしましては、おためし住宅の利用促進や農家民泊の活動の支援を引き続き行ってまいります。

次に、町内に宿泊することで滞在時間が延び、より町内の多くの場所を観光してもらうことができるのではないかとのことですが、まさにそのとおりでございます。滞在型の観光地を目指していかなければと考えているところでもあります。本町では、宿泊できる施設が少ないのが現状であります。すぐにホテルや旅館といった施設を誘致することは困難でございますので、先ほど申し上げましたおためし住宅や農家民泊とあわせて、旅館業法等の問題をクリアしてでも空き家や既存の住宅を活用して民泊を行っていただける方がございましたら、積極的に支援をしてまいりたいと考えているところでもあります。

○議長（吉田 花乃君） 田中議員。

○議員（4番 田中 隆雅君） では、改めまして空き家の再利用についてこちらから質問させていただきます。

日本人観光客と同じように、外国人観光客もその雰囲気を楽しんでいる古民家を利用したカフェは日本各地にあります。そして、それはその観光地の魅力の一つになっています。

北栄町では、海外からはアジア圏を中心とした多くの観光客が青山剛昌ふるさと館にきていますが、その人たちにもっと喜んでもらい、お金を落としていただける手段として、町内に空き家を利用したおしゃれなカフェのオープンを考えてみませんか。再度伺います。

○議長（吉田 花乃君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） そうやって空き家を活用してカフェが出来れば、観光客の方も大変喜んでいただけると思っております。ただ、これを誰がするかということになると、これがなかなかむずかしい。町はそういうことはあまりできませんし、だれかやはり意欲のある方がやってみたいということであれば、町は積極的に支援してまいりたいなと思っております。

先ほど、すでにカフェを開いておられる方がおると、古民家といいますか、そういう古い家を使って出されている方もあるということですが、たまたまコナン通りではなく北条側のほうに出しておられまして、これもなかなか古い建物ですが、これがなかなかおしゃれな感

じがしてお客様も来ておられるということでもありますので、もし、そういう意欲のある方があれば、やはり町としても支援をしてそういう賑やかな町、そして来ていただいて喜んでいただけるようなものに取り組んでまいりたいと思っております。

○議長（吉田 花乃君） 松田議員。

○議員（4番 松田 萌々香君） 以上で質問を終わります。

○議長（吉田 花乃君） 以上で、田中議員と松田議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（吉田 花乃君） 5番、齋尾幸希議員。

○議員（5番 齋尾 幸希君） 5番、齋尾幸希です。北栄町に残すべき施設や文化の保存協会をつくってはということについて、教育長に質問します。

東高尾観音寺を活用していくために保存協会をつくり、公開日を決めたり、イベントを行ったり、ホームページで紹介するというのはどうでしょうか。琴浦町の河本家住宅、大山町の門脇家住宅のように、地域の人を中心に皆で協力しながら守っていくのがいいと思い提案します。

公開日を決めるというのは、現在、東高尾観音寺に行くには、町役場に電話して東高尾の自治会長さんに連絡、開錠してもらわないといけません。そこで、一般公開する日を決めることで、観光客が来やすくなると思うのですがどうでしょうか。

イベントを行うことで、それを目的に集まる人がふえると思います。子どもでも楽しめるように屋台や農作物の直売をしてみてもどうでしょうか。

ホームページで紹介するというのは、現在、東高尾観音寺は町のホームページには載っていますが独自のホームページがつくられていないので、ホームページをつくることにより、より多くの人に来てもらえると思いますかどうでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（吉田 花乃君） 別本教育長。

○教育長（別本 勝美君） 齋尾議員のご質問にお答えいたします。

北栄町に残すべき施設や文化の保存協会をつくってはとのご質問でございます。

はじめに、東高尾観音寺を活用していくために保存協会をつくったり、公開日を決めたり、イベントを行ったり、ホームページで紹介してはどうかについてでございます。

東高尾観音寺には国指定の重要文化財の仏像が2体のほか、県指定の保護文化財も多数所蔵しておられます。現在、この仏像は東高尾自治会の皆さんが協力しながら総代会という形で管理、運営しておられます。

齋尾議員がおっしゃるように、町教育委員会といたしましても、とても貴重な文化財ですのもっと多くの方に見に来ていただき、それが東高尾自治会の活性化につながるかという思いから、昨年自治会に、活用できそうな補助金の情報を入手し紹介させていただきました。その後、自治会の中でご相談いただきましたが、活用に向けた話にはならなかったと伺っております。

とてもよいご提案をいただいたと思いますが、まず、地元の方々が自主的に取り組まれることが大切であり、そのことによって一般公開、イベントにつながるのではないかと思っ

ています。また、ホームページにつきましても、現時点では掲載できる内容が限られており管理、運営もむずかしいと思われませんが、そのような活発な動きが出てくれば、町教育委員会といたしましても、さまざまな形で協力、支援ができると考えております。

皆様が地域に関心を持っていただいたこの機会が好機だと考えます。ぜひとも若い皆様から地元の皆様に働きかけを行っていただき、関わっていただくことで取り組みのきっかけづくりをしていただけたらと思います。このことが地域を元気にする第一歩になるとも考えますので、よろしく願いをいたします。

○議長（吉田 花乃君） 齋尾議員。

○議員（5番 齋尾 幸希君） 以上で質問を終わります。

○議長（吉田 花乃君） 以上で、齋尾議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（吉田 花乃君） 6番、影井翔議員。

○議員（6番 影井 翔君） 6番、影井翔です。全国高校生太鼓甲子園の開催について、教育長にお聞きします。

育英の地域探究の時間で、「白鳳太鼓」を練習させていただきました。全国の、太鼓を文化として引き継いでいる地域を集めて、コンテストのようなイベントを開催してはどうでしょうか。

大栄小学校では「黒ぼく太鼓」を練習し活動しているので、小・中・高で連携を取り継承していけば、北栄町の活性化につながると思うのですがどうでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（吉田 花乃君） 別本教育長。

○教育長（別本 勝美君） 影井議員のご質問にお答えいたします。

全国高校生太鼓甲子園の開催についてのご質問でございます。

北栄町には、北条地区に「北条砂丘太鼓」、大栄地区に「黒ぼく太鼓」がありますが、まずは現状について説明させていただきます。

北条砂丘太鼓は、以前は青年団有志が公民館活動の一環として行い、自分たちで練習し披露する取り組みとともに、子どもたちに指導することも行ってまいりました。現在は、一部の方が北条こども園の園児たちに、子どもたちでたたけるよう指導しているだけで、本格的な形で北条砂丘太鼓がたたける人が少なくなり継承が危ぶまれている状態でした。しかし、今年度から町教育委員会もサポートしながら、北条砂丘太鼓に取り組む若い有志の方たちが現れ、少しずつ復活の兆しがでてきている状況でございます。

また、大栄地区の黒ぼく太鼓については、昔から小学校で運動会や学習発表会で披露するため、上級生から下級生へと引き継がれ、現在も継承されてきております。しかし、小学校を卒業してからは、黒ぼく太鼓をたたく機会がないのが現状でございます。

全国規模のコンテストのようなイベントの開催は地域活性化にもつながりますし、とても魅力的なことだと考えますが、現状が先ほどのような状況ですので、まずは高校生の皆さんが太鼓に積極的に取り組んでいただき、全国高等学校総合文化祭の郷土芸能部門や、平成14年に鳥取県でも行われました国民文化祭、そして静岡県等で開催されています全国高校生太鼓甲子園

などに参加をされて太鼓の魅力を発信していただければ、機運も高まるのではないかと考えます。高校生の皆さんの活躍を見ることで、小学生、中学生にも太鼓の魅力が伝わり、ひいては小・中・高の連携にもつながるのではないかと考えております。

○議長（吉田 花乃君） 影井議員。

○議員（6番 影井 翔君） ぜひ前向きに検討をお願いします。

○議長（吉田 花乃君） 別本教育長。

○教育長（別本 勝美君） 影井議員のご質問にお答えいたします。

町としても、この北条砂丘太鼓であったり黒ぼく太鼓について支援をしていきたいと考えておりますので、ぜひとも高校生の皆さんにも部活動とかそういった形の中で太鼓に取り組んでいただければと思います。

○議長（吉田 花乃君） 影井議員。

○議員（6番 影井 翔君） 以上で質問を終わります。

○議長（吉田 花乃君） 以上で、影井議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（吉田 花乃君） 7番、高島真太郎議員。

○議員（7番 高島 真太郎君） 7番、高島真太郎です。町長に、農業従事者への資金募集について質問します。

農業の後継者不足という問題を解決するためには、新規に農業従事者を募集する必要がありますが、そのためには施設設備等を準備する資金が必要となります。その資金を調達するためにスポンサーを募集するのはどうでしょうか。

農業女子もふえてきています。スポーツ用品メーカーなどに、動きやすく素早く汗を発散する機能的な作業服を作成してもらい、作業着でイメージアップすることによって農業をすることが楽しくなると思います。

支援してもらった企業を宣伝し、大栄西瓜などのブランド力を活用して広報すれば、企業側にもメリットがあると思いますがどうでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（吉田 花乃君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 高島議員のご質問にお答えいたします。

農業従事者への資金募集についてのご質問でございます。

まずはじめに、新規就農のために必要な施設設備等の資金を調達するため、スポンサーを募集してはどうかとのご提案でございます。

農業を始めるためには、農地だけでなくトラクター等の機械、作物によってはハウス設備投資に多くの費用がかかります。また、種苗、肥料、燃料等の経常経費、当面の生活費についても準備しておく必要があります。このハードルの高い新規就農を応援するため、国や県の支援を受けながら、収入が不安定になりがちな就農初期の経営を支援する給付金や、施設設備の導入に係る経費について支援する制度を充実しているところであります。

それでも新規就農者の負担感が大きい中で、議員ご提案のスポンサー募集のように別の角度

から支援があることは、参入しやすい環境を整備する中で興味深いアイデアであると言えます。しかしながら、スポンサーとなる企業側に明確なメリットがなければ実現しにくいものではないかと思っています。

議員ご提案の、スポーツ用品メーカーなどで機能的な作業服を作成してもらってはとのことですが、確かに、最近は作業効率のよいもの、おしゃれなもの等が販売されております。また、軽トラックと言えば白色が定番でしたが、町内において黒色、オレンジ色といった軽トラックが走っているのを見かけるようになりました。パステルカラーの軽トラックもあるように聞いております。これまで考えられなかったものが商品化されるようになってきております。このような中、大栄西瓜をはじめとしたブランド力を活用して、支援企業を有効に宣伝する方法を見出し提案することができれば大きな力になるかと思えます。最近では、農業分野においてもクラウドファンディングを活用して事業展開を図ったりする若い農業者もふえてきておりますので、新しい風を吹きこむ若い柔軟な発想力で、スポンサーとなる企業に飛びついていただけるようなアイデアを一緒になって考えていただければと思っています。

○議長（吉田 花乃君） 高島議員。

○議員（7番 高島 真太郎君） 大変よい答えをいただきました。以上で質問を終わります。

○議長（吉田 花乃君） 以上で、高島議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（吉田 花乃君） 8番、中島月愛議員。

○議員（8番 中島 月愛君） 8番、中島月愛です。町長に、2つのことについてお聞きします。

一つ目は、道路整備を最優先にし、工業団地を整備することで企業誘致してはについてです。

北条バイパス及び関金を経て中国道につながる高速道路など、道路整備を最優先にすることによって工業団地の整備や運搬が効率よくできるので、企業誘致しやすくなると思うのですがどうでしょうか。

企業誘致し税収を上げることで、第2子の保育料無料化など、若い夫婦の支援になり人がふえ町が活気づくと思うのですがどうでしょうか。

二つ目は、北栄ドリーム農場のようにスイカやブドウなどの経営も会社化してはどうかについてです。

いろいろ支援を活用しても、いきなり北栄町に来て農業をはじめるのはむずかしいと思います。イチゴで成功しているのでスイカ、ブドウなども会社化し、若者に来てもらえれば高齢化による生産者不足もなくなると思うのですがどうでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（吉田 花乃君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 中島議員のご質問にお答えいたします。

まずはじめに、道路整備を最優先にし、工業団地を整備することで企業誘致をしてはどうかとのご質問でございます。

本町は、地域の東西をつなぐ主要幹線道路である国道9号線と、南の岡山県とをつなぐ北条湯原道路が結節する交通の要衝に位置しております。現在、山陰道の整備が進められている中

で、未整備であった北条道路区間が事業化され、また、北条湯原道路につきましても整備が進められているところであり、交通の要衝として本町の立地は住民の皆さんの利便性が向上するとともに、企業にとってもより魅力的な地域となることが期待されております。

これら道路整備の促進につきましては、議員仰せのとおり、本町としましても最優先の取り組み事項として捉えており、中部1市4町及び商工観光等に関わる民間団体等で組織する一般国道9号「北条道路」整備促進期成会等で国へ積極的に要望活動を行っているほか、事業の推進にあたっては、事業者の国・県と地権者等をはじめとした地元関係者との間に入って、円滑に事業を推進できるよう協議、調整を行っているところであります。

一方で、工業団地の整備についてでございますが、本町としましては、これまでに東園の稲場工業団地、田井工業団地、土下工業団地の3か所を整備し、15社の企業が進出されております。その中で、三陽合繊跡地となっている土下工業団地は、現在、空き用地となっていることから、県立地戦略課等と連携しながら企業誘致を進めているところであります。

議員ご提案の、新たな工業団地を整備して企業誘致することは、税収の増加につながり保育、教育、福祉などさまざまな住民サービスの向上が図れるとともに、地域の発展に十分に寄与すると考えられます。しかしながら、商工業をはじめとした町内の既存事業所は、ここ近年、求人を募集しても応募がない慢性的な労働力不足となっており、設備投資を行って事業規模の拡大を図ることに二の足を踏むような状況におかれています。

したがって本町といたしましては、現在、空き用地となっている土下工業団地のほかに新たに工業団地を整備して積極的に企業を呼び込むことは、既存の事業所がおかれている現状等も鑑み考えておりません。引き続き県立地戦略課と連携しながら土下工業団地の企業誘致を進めて行くとともに、まずは、本町に拠点を置かれている既存の企業を支援していくことに重点をおいて取り組みを進めてまいりたいと考えております。

また、中島議員をはじめ高校生の皆さんにおかれましては、将来、ぜひとも地元に戻って就職していただき、本町ならびに鳥取県中部の活気あるまちづくりの一員になっていただければと思います。

次に、北栄ドリーム農場のようにスイカやブドウなどの経営も会社化してどうかのご質問です。

北栄ドリーム農場は、本町の地方創生の目玉事業として「農業のまち北栄町」の新たな品目であるイチゴの産地化を目指して、JA鳥取中央と連携して設立した農業法人であります。年々、イチゴ栽培を行う圃場面積を拡大するにあたり、地域おこし協力隊制度を活用して都市部から若者を採用して、イチゴの産地化を進める次代の担い手を育成しているところであります。

一方で、全国的に農業従事者の高齢化、後継者不足などが課題となっており、スイカ、ブドウをはじめとした産地である本町におきましても、喫緊に取り組むべき課題と捉えております。そのような中で、議員ご提案の会社化は、課題解決に向けて有効な方法の一つであると考えております。

新規で農業参入する場合、初期投資にある一定の資金が必要なおことをはじめ、栽培技術に係る経験や知識を得ることなどさまざまな支援はあるものの、クリアすべき課題もたくさんあります。そのような中で、圃場をはじめとした施設設備などが整い、生産に係るノウハウを持つ会社組織があれば、新規就農者の受け皿としてその機能を発揮すると思えます。

また、会社化することのメリットといたしましては、家族経営とは違い企業でありますので役員をはじめ従業員に入れ替わりがあり、経営が安定していれば営農の継続性が図れること、また、営農規模を拡大するにあたり必要な従業員を採用し労働力を確保するという営農の規模感に応じて柔軟性に富んだ対応ができることなどが挙げられます。

新規就農者を受け入れる体制として有効ではありますが、大栄西瓜、北条ブドウは、多くの生産者が作り上げてこられたブランド品であります。現在、新規就農者の方には、農業次世代人材投資資金や農の雇用等の制度で、生産農家のもとで技術的な知識、技術を得ることができますし、生産組織の支援体制もしっかりしておりますので、会社組織というより生産者に主役になっていただき、ノウハウを身につけ独立就農に向けた取り組みをしていただいているところでもあります。ブドウの後継者対策を検討する会の中では、新規就農者を迎えるためには、地域ごとの組織をつくりその中で研修ができるような体制を検討してはどうかといった話し合いもなされております。

町といたしましては、いろいろな営農形態があると思いますが、新規就農の方々を含め意欲のある農業者それぞれが必要とする営農形態の中で支援するように努めていきたいと考えております。その中で、近い将来、AIやITを活用した会社化された農業法人も出現するものと思っているところであります。

○議長（吉田 花乃君） 中島議員。

○議員（8番 中島 月愛君） 北条バイパス及び関金を経て中国道につながる高速道路をつくる際、工業団地の候補として北栄町を広報してはどうでしょうか。

○議長（吉田 花乃君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 現在、北条湯原道路ということで整備が進んでおります。その中で、倉吉市に工業団地があり大変多くの企業が進出しているということでもあります。北栄町も道路に面しておりますので、大変立地的にはよい場所でもありますので、もしそういう企業等の参入があれば、やはりそれに沿って北栄町も考えてまいりたいと思います。ただ、先ほど申し上げましたように、なかなか今、人材不足ということで工業地域も人が集まらないというような状況でありますので、結構むずかしいかなとは思っておりますが、そういう進出等があれば、町としても迅速に対応してまいりたいと思っております。

○議長（吉田 花乃君） 中島議員。

○議員（8番 中島 月愛君） 次の質問に移ります。北栄ドリーム農場のように、スイカやブドウなどの経営も会社化してはどうかについて質問します。

未経験者がスイカを育てるのはむずかしいので、これまでスイカを育ててきたご年配の方に現地に出向いてもらって、指導を受けるというのはどうでしょうか。

○議長（吉田 花乃君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 先ほど議員がおっしゃったように、大変技術的なものがなくて、スイカにしてもブドウにしてもむずかしい面があるわけでもあります。そういう中であって、新規就農者の方がそういう農家の方のところに行って指導を受けながらされるということが、先ほどの次世代人材投資制度等を使ったり、あるいは農の雇用を使ったりして、そういう技術を学ばれたりしている状況であります。そういう体制も、今後はしっかりしなければならないと思っております。その農家に行ってそうやってされているわけではありますが、やはり生産組織全体

で新規就農者を育てていくんだというそういうものが需要だろうと思いますので、生産組織の中でそういう体制を取っていただくようなことを、組織内でもそういう話もぼちぼちでておりますので、そういう体制をつくっていくように努力してまいりたいと思います。

○議長（吉田 花乃君） 中島議員。

○議員（8番 中島 月愛君） ありがとうございます。以上で質問を終わります。

○議長（吉田 花乃君） 以上で、中島議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（吉田 花乃君） 9番、木下朱利議員。

○議員（9番 木下 朱利君） 9番、木下朱利です。町長に、海岸清掃活動のイベントと、平成37年以降の風車はどうするのかについてお聞きします。

エフエム山陰で、エネルギー関連企業とタイアップした海岸清掃活動のCMを聞きます。環境問題に取り組む企業も多いと思うので、そういう企業とエフエム山陰と北栄町が連携し、清掃活動をイベント化してはどうでしょうか。そのとき、春から秋なら地引き網をしたり、特産品を使った料理提供をします。知事も言うておられましたが、北栄町のきれいな海岸と海、特産物を知ってもらおうというのはどうでしょうか。CMをすれば県外の人も来ると思うので、イメージアップにつながるのではないのでしょうか。

次に、風車の発電事業が、平成37年に固定価格での買い取り期間終了が決まっているが、そのあとが決まっていなくて聞きましたがどうなるのでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（吉田 花乃君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 木下議員のご質問にお答えいたします。

まずはじめに、海岸清掃活動のイベントについてのご質問でございます。

北栄町では、海岸近くの自治会が年3回の海岸清掃を実施しており、毎年約2,000人近くの方が海岸の清掃活動に参加されております。また、海岸を訪れる観光客や団体の方が自主的に清掃活動をされることもあり、昨年度の海岸清掃によるごみの処理量は可燃ごみ34トン、不燃ごみ4トンでした。海岸のごみの多くは、波によって流れ着いたペットボトルなどのプラスチック容器ですが、そのほかにも海岸でポイ捨てされたと思われるごみも見られ、美しい海や砂浜をごみで汚す行為に憤りを感じているところであります。

そうした中、海岸清掃活動を小・中学生が参加できるイベントにしてみてもどうかというご提案については、イベント参加をきっかけに北栄町の海や砂浜の環境を守りたいという意識高揚にもつながることが期待できるよい取り組みだと思います。

県内でも、地域のボランティア団体がウォーキングや自然環境学習会等のイベントとあわせて海岸清掃活動を実施されている事例がありますので、北栄町の海岸ではどんなイベントができるのか、イベント内容や開催時期等を検討してみたいと思います。また、イベントを通してたくさんの方々が海や砂浜の環境保全に対する意識を持ち、自治会の海岸清掃活動にも積極的に参加できるような啓発もあわせて行っていきたいと考えます。

また、エフエム山陰と連携した海岸清掃活動というのは、全国FM放送協議会加盟38局が企

業とパートナーシップを組んで、地球環境の保護と保全を全世界に呼びかけていく活動の中で、各放送局が地元の地域で毎年実施しているクリーン・キャンペーンのことかと思いますが、こうした活動と連携できるかどうかにつきましては、エフエム山陰にも呼びかけていきたいと考えております。

海岸清掃イベントを開催する際には、ぜひ高校生の皆様にも積極的に参加いただきたいと思っております。

次に、平成 37 年以降の風車はどうするのかについてのご質問です。

平成 17 年 11 月に北条砂丘風力発電所が動き出してから 13 年が経過しました。昨年 9 月には、借入していた 20 億 2,510 万円の返済が終了し、積み立てている基金につきましても 3 月末時点での残高は 5 億 7,600 万円となっております。また、平成 25 年度から一般会計に 5,000 万円、今年度は 7,000 万円を繰出し、「風のまちづくり事業」として風車の収益の一部を使って、街路灯の LED 化や公共施設への太陽光発電設備の導入、住宅の省エネルギー改修補助などに活用するなど「環境にやさしいまちづくり」に大きな効果が得られていると考えております。

そして、あと 7 年ほどで固定価格買取制度、いわゆる FIT による売電期間が終了いたします。もちろん、売電期間が終了したからといってすぐに風力発電事業を終了するわけではありませんが、それまでには、事業を継続するのか、または事業を終了し解体撤去を行うのか、民間等に譲渡するのか、方向性を決定していくことが必要だと考えております。計画時から広く住民の皆様のご意見をいただき情報交換を行ってきたように、風力発電事業の今後についてもできるだけ住民の皆様にご意見を公開し、広くご意見をいただくようなことも考え、方向性を決めていきたいと思っております。

○議長（吉田 花乃君） 木下議員。

○議員（9 番 木下 朱利君） 以上で質問を終わります。

○議長（吉田 花乃君） 以上で、木下議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（吉田 花乃君） 10 番、陶山知明議員。

○議員（10 番 陶山 知明君） 10 番、陶山知明です。町長に、2 つ質問をします。

一つ目は、避難経路を表示したハザードマップについてです。

避難経路を複数ルート表示したハザードマップをつくってはどうか。この前の豪雨で道路が冠水し、避難所に行けない場合が出てくる可能性があります。地震でも、道路が寸断されれば同じことが起こります。いろいろな経路を考え、それを表示したハザードマップをつくってはどうか。

また、そのハザードマップを観光案内所やショップに置き、観光客の避難に活用してはどうか。なかなか手に取ってもらえないことも考え、主要観光地、またはその経路の途中に避難経路図を設置すれば、観光客にやさしい町になると思いますがどうか。

二つ目に質問します。津波対策として、町内に幾つかの高台を建設してはどうかについて質問します。

佐渡北方沖地震が起きれば、最大 4.9 メートルの津波が発生し 162 分後に到達することにな

ります。そうなることは、今後あり得るかもしれません。避難用の高台が必要になると思います。

また、防災の観点から、そこに至るまでの高規格の道路も含めつくってはどうか。遊具なども設置すれば、その地区の憩いの場所になると思いますがどうでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（吉田 花乃君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 陶山議員のご質問にお答えいたします。

最初に、避難経路を複数表示したハザードマップについてのご質問でございます。

豪雨で道路が冠水した場合の避難経路はあちら、地震の場合はこちら、津波の場合はそちらなど、災害や被害に応じた避難経路が示されたハザードマップがあれば避難も素早くできて、避難者にとって心強いものとなります。

町では、ハザードマップの更新作業を進めているところで、この提案いただいたわけですが、風水害や津波など災害によっても避難する場所は違いますし、例えば、同じ地震でも通行止めになったり、被害を受ける箇所は毎回同じではありませんので、議員のご提案をマップに盛り込むことは残念ながらできませんでした。

複数の避難経路を示すことは、マップや掲示板ではむずかしいと思いますが考えてみたいと思っております。また、こういう場合はやはりスマホがよいのではと思います。災害の種類、被害の状況、そして自分のいる位置に応じて、瞬時にスマホが避難を指示してくれる、そのような時代がすぐに来るような気がいたします。そうすれば、町民のみならず地域に不案内な観光客等も、指示に従い瞬時に避難が可能になるのではないかと思います。

次に、津波対策として、町内に幾つかの高台を建設してはとのご質問でございます。

鳥取県の沿岸に最大クラスの津波を引き起こす地震として、佐渡北方沖断層マグニチュード8.16の地震が想定されていまして、陶山議員ご指摘の、162分後に最大4.9メートルの津波がやってくるとの予測となっております。

東日本大震災では、適切な避難行動をとらなかった方が多く犠牲になられており、正しい情報を素早く伝え、避難行動を確実にとることが重要とされました。

現在では、Jアラートや防災行政無線なども整備されて、地震や津波の情報を即座に発信・受信できる環境も整っています。迅速な行動での対応をとれば、津波到達までに時間がありますので、高台を設けなくても適切な場所への避難は十分に可能であると思っております。

○議長（吉田 花乃君） 陶山議員。

○議員（10番 陶山 知明君） 避難経路を表示したハザードマップについて再度質問します。

せっかくできあがったハザードマップをなかなか手に取ってもらえないことが一番の問題です。そこで、皆様が毎日目にするカレンダーに、このハザードマップを載せてはどうでしょうか。町長の所見を伺います。

○議長（吉田 花乃君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） なかなかおもしろい提案かなと思います。昨今、日本、あるいは世界でもいたるところで自然災害が発生しているところでもありますので、そういう中であって、カレンダーにあれば目に留まるということだろうと思いますので、おもしろいかなとは思いますが、それをだれがつけるかということになれば、やはり町がつくるということになればこれは

大変なことかなと思いますので、十分にまたできるかどうかということも検討しながら考えてみたいと思います。

○議長（吉田 花乃君） 陶山議員。

○議員（10番 陶山 知明君） 次の質問に移ります。津波対策として、町内に幾つかの高台を建設してはどうかについて質問します。

近い将来、北栄町に山陰道が完成すると聞いていますが、高規格道路にどこからでも避難できるように階段を設置するのはどうでしょうか。

○議長（吉田 花乃君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 今、山陰道の事業化について計画されているわけでありますが、どのくらいの高さになるかということもまだはっきりとは決まっておられませんし、どこの部分がそういうことになるかということも決まっておられません。ただ、インターチェンジは大栄、そして北条、2か所にできるということはすでに決まっているところではありますが、やはり階段をつけて自動車道を上るということになれば大変危険ではないかなと思っております。たぶん、車のほうも通行していると思いますので、そういう中で自動車道に上がっていくということは危険だろうと思っているところでもありますので、なかなかむずかしいかなと思っております。ただ、盛土でしてあるところについては、ある程度防波堤の役割を果たすのではないかなと思っておりますので、そういう形でこの自動車道が完成できればと思っているところでもあります。

○議長（吉田 花乃君） 陶山議員。

○議員（10番 陶山 知明君） 分かりました。ありがとうございました。以上で質問を終わります。

○議長（吉田 花乃君） 以上で、陶山議員の一般質問を終わります。
次に進みます。

○議長（吉田 花乃君） 11番、山口柚花議員。

○議員（11番 山口 柚花君） 11番、山口柚花です。私は町長に、町のイベントで野菜を使ったメニューの啓発について伺います。

私たちは、地域探究の時間で「野菜嫌いをなくして野菜を好きになってもらう」をテーマに取り組みました。野菜を食べることの大切さや、子どもたちに野菜に興味を持ってもらうためには食育活動が有効であることを学びました。子どもたちが野菜を食べるためには、まずは大人が食べる習慣をつける必要があります。そこで私たちは、フィールドワークで小さな子どもでも大人でも食べられるニンジンやホウレンソウといった野菜を使ったおやつを作りました。それを、実際にこども園のおやつの時間に出してもらい多くの子どもたちや先生方に食べてもらい、「また食べたい」「その日の残菜が少なかった」「また献立に入れてもいいかな」などといった感想が返ってきました。

そこで、町民へ広く野菜を使ったメニューを啓発されてはどうか。こども園などの野菜の人気メニューを紹介されるのはどうでしょうか。

また、6月に行われるすいか・ながいも健康マラソン大会や8月の北栄砂丘まつりなど町が行うイベントで、野菜を使ったメニューの紹介や試食をされ町民へ広く啓発されるとよいので

はないでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（吉田 花乃君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 山口議員のご質問にお答えいたします。

町のイベントで、野菜を使ったメニューの啓発をといったご質問でございます。

議員仰せのとおり、子どもの頃からの食育活動はとても重要であり、こども園では、野菜の収穫体験や「食」に対する関心を高めることができるよう食材に触れたり、調理による変化を観察するなど五感を使って体験する取り組みをしております。また、地元の野菜を上手に使った給食メニューの提供や、各園で発行される給食だより、健康推進課が発行する食育だより等で「食」の大切さを啓発し、健全な食生活を実践できる力を育てております。

こども園の野菜の人気メニューを紹介することについては、子どもとご家族に関心を持ってもらう意味でもとてもよいご提案だと思います。現在、町報の「食育コーナー」で旬の食材を使った料理や学校給食のレシピを載せており、隔月で料理動画も見ることができるようになっています。このシリーズに、新たにこども園での人気メニューも取り入れ3月号から掲載するようにいたします。また、町のフェイスブックにも料理動画を掲載しておりますので、こちらでも紹介していくほか、公民館の「こどもほくえい塾」の料理教室のメニューに入れる等検討してまいります。

町が行うイベントで野菜を使ったメニューを紹介し、町民へ広く啓発してはどうかというご提案につきましては、以前から、健康推進課主催で行うイベントや疾病別予防講演会では、食生活改善推進員と一緒に目的にあったメニューの試食やレシピ紹介を行っております。また、食生活改善推進員対象のヘルスマイト学習会で季節の野菜を使ったバランスのよいメニューを取り入れ、各地域での伝達講習会で住民に伝えていただくなど、1日350グラム以上の野菜を摂取するよう啓発しております。

今後も、機会を捉えてメニューの紹介や町ホームページに野菜レシピのページをつくるなど、積極的な啓発を行ってまいります。

○議長（吉田 花乃君） 山口議員。

○議員（11番 山口 柚花君） いろいろなメニューを紹介することで、子育てをしているお母さんやお父さんの手助けになるのではないのでしょうか。

○議長（吉田 花乃君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） いろいろなメニューを紹介する中で、嫌いなものも好きになっていくということもあろうかと思っておりますので、いろいろなものを紹介しながらたくさん野菜を食べていただく、そして野菜好きになっていただくと。そして、健康づくりにもそれが寄与していくというようなことにつながればと思っておりますので、いろいろな形でそういうものを紹介してまいりたいと思っております。

○議長（吉田 花乃君） 山口議員。

○議員（11番 山口 柚花君） 以上で質問を終わります。

○議長（吉田 花乃君） 以上で、山口議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（吉田 花乃君） 12番、松本麗衣議員。

○議員（12番 松本 麗衣君） 12番、松本麗衣です。私は町長に、高齢者がいきいき活動できる方策について質問いたします。

高齢者がいきいき活動できるように、高齢者と子どもたちが一緒に野菜や果物を植え、収穫し、料理を楽しむ収穫祭のようなものを町が企画してはどうでしょうか。北栄町は、四季を通じ野菜や果物が収穫できます。高齢者と子どもたちが野菜や果物を育て、収穫し、料理を作り一緒に食べる収穫祭のようなものを開きます。その時、伝統を引き継ぐとまではいきませんが高齢者の方が指導し、笹舟や竹で作った水鉄砲などを一緒に作り、子どもたちに伝え、楽しみます。

このように、高齢者の方々も子どもとふれあうことでいきいきするのではと思うのですがどうでしょうか。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（吉田 花乃君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 松本議員のご質問にお答えいたします。

高齢者の活動企画についてのご質問でございます。

議員仰せのように、子どもと高齢者の方が一緒に楽しむ収穫祭のようなイベントを開き、あわせて高齢者の方が手作りおもちゃの作り方を子どもに教えるような取り組みも高齢者の方にとっていきいきできるものになることは間違いないと思います。現在でも、町内のこども園の中には、祖父母参観日を設けてお手玉やあやとりなどの遊びを園児と一緒にしてふれあっているこども園や、シルバー人材センターの方と一緒にもちつきをして交流しているこども園もございます。

このような取り組みも大事ではございますが、こうしたイベントではどうしてもその時だけのふれあいで終わってしまいます。町では、普段から顔を合わせ長くその関係が続くことが期待できる身近な地域でのふれあいの取り組みが進めばよいと考えております。

町内の自治会の中には、田植えから稲刈りによる収穫まで子どもたちと地域の高齢者を含めた大人が一緒に行ったり、子ども会をついたおもちゃを高齢者のお宅に配り交流しているところや、敬老会で出し物を披露するなどの交流をしている自治会も数多くございます。

また、青少年育成講座で現在行っている行事にも、地域と連携して、高齢者の方に自然に親しんだり自然の恵みをいただくことを教えていただくものもすでにごございます。

そして今後、自分たちが昔遊んだ遊びを教えていただく講座も予定しているところであります。そういうものをさらに各地域で普及させ、子どもと高齢者がふれあい学ぶことができればと思っております。そういう中で、その地域でとれたものを持ちよって収穫を祝えば、お互いがよりいきいきと生活できるものと思っているところであります。

○議長（吉田 花乃君） 松本議員。

○議員（12番 松本 麗衣君） 私は、公民館ごとでそういう活動をすればそれぞれの地区もいきいきすると思うのですが、町長はどうお考えでしょうか。

○議長（吉田 花乃君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） そういうことをしていくことが、子どもが高齢者とふれあう、そして

また高齢者が子どもとふれあうということがずっとつながって行ってよりよい関係ができると思っておりますし、また、それぞれの地域のそういう伝統であったりあるいは風習、そういうものが伝わっていくものだろうと思っておりますので、そういうことを続けていただけるように、こちらからも、町の中でこういうものができますよとか、ああいうものがありますよというようなことも提案させていただきながら取り組みを進めていただくようにしていきたいなと思います。

○議長（吉田 花乃君） 松本議員。

○議員（12番 松本 麗衣君） 小学校とも連携して小学校の農園を借りるのも、子どもたちと関わるので高齢者も楽しめると思います。なので、今後の活動を前向きにご検討していただければうれしいです。

○議長（吉田 花乃君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） こども園だけではなくて、地域だけではなくて、なかなかできない地域もあると思いますので、そういう中では学校であったり、そういう単位でやっていくということも必要だろうと思いますので、教育委員会等とも協議しながら検討してまいりたいと思います。

○議長（吉田 花乃君） 松本議員。

○議員（12番 松本 麗衣君） 以上で質問を終わります。

○議長（吉田 花乃君） 以上で、松本議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（吉田 花乃君） 13番、吉田泰彗議員。

○議員（13番 吉田 泰彗君） 13番、吉田泰彗です。私は町長に、青山剛昌ふるさと館を結婚式場に利用することはできないかという質問をいたします。

結婚式には、オリジナル感や風景が求められていることを学びました。青山剛昌ふるさと館は根強い人気があり、北栄町を代表する観光スポットとなっています。この施設を、結婚式場に貸し出すことによって、北栄町を大きくアピールできるのではないかと思います。また、経済効果も期待できると思います。

現在、県中部の結婚式の多くは倉吉市内のホテルで行われてしまっていますが、名探偵コナンの人気を利用して、ブライダル事業を北栄町で行えるようにしてはどうでしょうか。北栄町で結婚式が行われる絵は、活性化に大きくつながると思います。

以上で、壇上での質問を終わります。

○議長（吉田 花乃君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 吉田議員のご質問にお答えいたします。

青山剛昌ふるさと館を結婚式場に利用することはできないかについてのご質問でございます。

青山剛昌ふるさと館を結婚式場に貸し出すことによって、北栄町を大きくアピールできるのではとのことですが、大変おもしろい視点でのご提案でございます。議員仰せのとおり、青山剛昌ふるさと館は北栄町を代表する観光スポットであり、若者の晩婚化、未婚者の増加は社会的に大きな問題となっており、北栄町でも婚活事業を進めているところでもあります。

ので、この提案が実現されれば大きな話題になることと思います。

しかしながら、青山剛昌ふるさと館を結婚式場として貸し出すためには、何点かの課題もございます。議員もご存知のとおり、青山剛昌ふるさと館の開館時間は午前9時30分から午後5時30分で年中無休でございます。結婚式の準備から、挙行、後片付けまでの時間の確保が非常にむずかしいのではないかと考えます。また、新郎新婦、参列者の控え室等として活用できるお部屋もございません。そして、青山剛昌ふるさと館を現在の目的以外での活用を行うためには、著作権元と協議し許諾を得る必要があります。こうした課題を解決できれば実現可能と考えますが、現時点では非常にむずかしいと考えているところであります。

また、結婚式ではありませんが、個人的にコナン通りのオブジェを活用し結婚式の前撮りなどを行われることは、ほかのお客様のご迷惑にならなければ可能かと思えます。ただし、これを町が事業化するという事になれば、著作権元との協議、ほかのお客様との調整等の課題が考えられます。

コナンの人気を活用したブライダル事業につきましては、「名探偵コナン」を活用した新たな事業の創設は著作権元との許諾が必要となり、先ほど申し上げましたように、ハードルが非常に高いと思われ大変おもしろいと思っております。実施したいという事業者があり、著作権元との協議が調うようであれば支援してまいりたいと思っております。

○議長（吉田 花乃君） 吉田議員。

○議員（13番 吉田 泰誓君） 日本人の方だけでなく外国人の方にも利用していただけると、さらに世界に発信できると思うので、前向きな検討をお願いします。

○議長（吉田 花乃君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） そうなれば大変おもしろいかなと思っておりますが、先ほど申し上げましたように、やはりそういう課題をクリアしていくことが必要だろうと思っておりますので、まず、そういう課題をクリアしていく、そして、そういう事業をやりたいという方を探していくことが大切ではないかなと思っておりますので、そういうことをクリアできるように検討していければと思っております。

○議長（吉田 花乃君） 吉田議員。

○議員（13番 吉田 泰誓君） 以上で質問を終わります。

○議長（吉田 花乃君） 以上で、吉田議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（吉田 花乃君） 14番、丸颯斗議員。

○議員（14番 丸 颯斗君） 14番、丸颯斗です。私は町長に、北栄町独自の奨学金制度の制定について質問します。

北栄町出身の若者に地元に戻ってきてもらうため、倉吉市や琴浦町のように進学者に対して独自の奨学金制度を北栄町でも導入してみてもどうでしょうか。就職できる企業がないとだめですが、北栄町で働けば全額返済不要、町内に住み町外で働く場合は半額免除というようにすれば、帰ってきて県内、地域で働く若者がふえるのではないのでしょうか。

実際、帰ってきたいと思う人は、県の調べで84%。それに対し県内企業に就職した人は19.7%

です。この差を埋めるためにも、企業誘致と独自の奨学金制度を考えてみてはどうでしょうか。

以上で、壇上での私の質問を終わります。

○議長（吉田 花乃君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 丸議員のご質問にお答えいたします。

北栄町独自の奨学金制度についてのご質問です。

進学を経済的に支援するための奨学金制度は、日本学生支援機構や鳥取県育英奨学資金をはじめ、議員仰せの、倉吉市・琴浦町の奨学金制度など市町単位でもさまざまな制度が設けられております。本町といたしましても、独自の奨学金制度としまして、高校進学者を対象とした「音田教育振興基金」、大学進学者を対象とした「竹歳敏夫奨学育英会奨学金」を設けているところであります。

その中で、議員ご提案の町内就職した場合に全額返済不要のような、県外に進学した学生のUターン就職を後押しする取り組みがどのような成果がでるか非常に興味深いと考えます。

現在、鳥取県が県内に就職する学生を対象に奨学金の返還を助成する「鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金」を設けております。この制度は、県内への企業進出や事業拡大する企業がふえ就職の場が広がっている一方で、特に労働力が求められている製造業・建設業・農林水産業などに業種を限ってではありますが、就職する者を対象に、日本学生支援機構や鳥取県育英奨学資金などから貸与した奨学金総額のうち一定割合（最大で2分の1）を助成金として給付するものであります。

議員をはじめ、県外に進学を考えておられる生徒の皆さんにおかれましても、奨学金の貸与とあわせて返還に係る助成事業があることをご承知いただき、ぜひ、ふるさとに戻って活躍していただきたいと考えております。

また、本町といたしましても、この助成金制度の活用実績や効果を検証しながら、どのような支援が地元就職につながるか検討してみたいと考えております。

なお、企業誘致につきましては、近年の労働者不足という情勢も勘案しながらではありますが、引き続き県立地戦略課と連携して進出意向のある企業に働きかけを行い、地域に新たな雇用の場を創出していきたいと考えているところであります。

○議長（吉田 花乃君） 丸議員。

○議員（14番 丸 颯斗君） 以上で私の質問を終わります。

○議長（吉田 花乃君） 以上で、丸議員の一般質問を終わります。

○議長（吉田 花乃君） 以上をもって、本日の日程はすべて終了しました。

これにて、平成30年度北栄町高校生議会議を閉会します。

午前11時09分閉会

高校生議長あいさつ

○議長（吉田 花乃君） 今日は、このような貴重な時間をいただきありがとうございます。鳥

取中央育英高等学校と北栄町にとって、とても有意義な時間になりました。どうもありがとうございました。

上記会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

高校生議会議長

署名議員

署名議員
